

特集 ■まずは水周りの床下湿気対策から

■店舗や小規模事務所の防犯で注目

□シリーズ SEIHOナビゲーション「風量測定装置」

令和二年三月
代表取締役社長
大石
龍也

敬具

お客様とSEIHOをつなぐコミュニケーションペーパー



陽春の候、皆様方におかれましては益々ご清栄のことと
お喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、2020年となり早くも三ヶ月が経過いたしました。
1月後半より新型コロナウイルスが猛威を振るい、世界
経済の18パーセントを占める中国を中心に世界的な景
気減速を招いています。国内においても特に観光関連産
業においては大きな打撃となり予断を許さぬ状況で、消
費増税と併せて今後景気への影響が心配されるところで
あります。当社は今年、今後の景気後退等も視野に入れ、
顧客へのアプローチ方法について様々な視点から改善を
進めていく方針です。

昨今、床下換気システム提案の際、予算上削られその後
の提案もなかなか進んでいないという声を聞きます。そう
いう買い控えへの打開策として、今回ニュースレターで特
集している「床下換気ベーシックシリーズ」についてあら
ためて認知を広めていきたいと考えています。予算の厳しい
お客様に「まずは、水回りのお部屋に必要最低限の床下
換気をご提案するプランです。併せて、毎年のように発
生する水害や床下漏水を素早く察知し運転を停止させる機
能を盛り込んだ新型タイマーもこの四月から発売いたしま
すので換気扇設置後十年以上経過している顧客様へはこの
浸水センサー付きタイマーを活用した安全点検、または買
い替え提案を進めていただきたくお願い申し上げます。
また、セイホーブラックでは当社施設の視察をお勧めし
ています。様々な実験証風景、設備、シミュレーション
など充実した内容で、社員研修にもお役立て頂いています。
是非ともご来社いただければ幸いでございます。

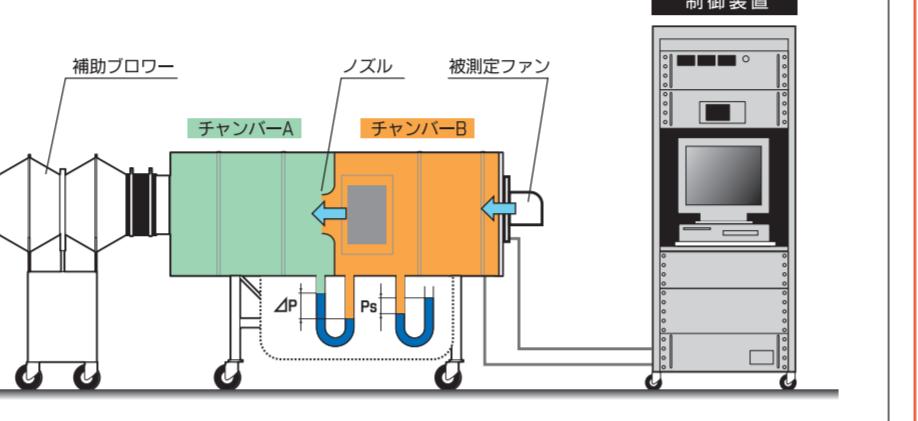
令和二年三月
代表取締役社長
大石
龍也

敬具

あすのビジネスのヒント！ PICK UP TOPICS

■ 風量測定装置（ダブルチャンバー方式）

ダブルチャンバー方式は、精度が高く、海外でも広く用いられていることから当社ではこの方式を採用しています。下図に示すように、ノズル前後の差圧 ΔP と、チャンバー内の圧力 P_s を測定することにより、被測定ファンの風量・静圧特性を求める装置です。この風量測定装置はJIS-B8301 ISO5801、AMCA210-85に基づいています。※AMCA210-85 (The Air Moving and Conditioning Association)



■ 風量測定装置
ダブルチャンバー方式採用した風量測定機で精度が高く、JISやISOなどCA等の規格に基づいて製造された装置です。また、ファンの改善や仕様変更時に性能に問題がないか監視等の検証にも使用します。

視察に関するお問い合わせ・ご相談は、担当営業またはセイホーブラック営業本部までお気軽にどうぞ

モーター仕様について（電気用品の技術基準適合対応）



現在、換気扇用（プロワー・攪拌・拡散型）のモーターは、コンデンサと金属ボックスに電着塗装を施すことで更に品質向上を行った仕様へと順次切り替えを進めています。

多岐にわたる試験・実験・測定を繰り返し行うためのSEIHO独自の施設、測定装置・器具とその内容をご紹介。



5 風量測定装置



換気扇の点検・買い替え提案に関する取り組みについて

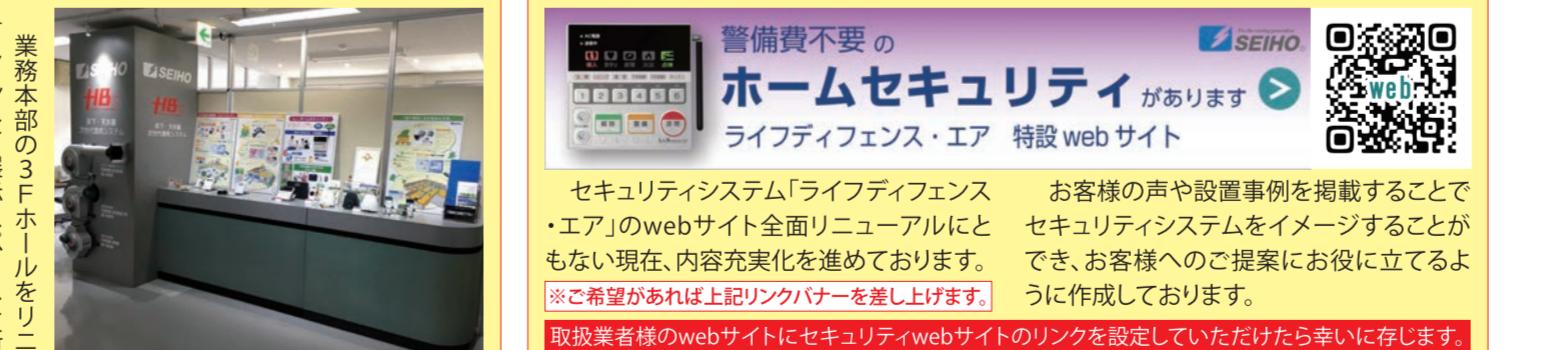


長期使用製品安全表示制度(※)や技術基準改正により、当社では現行基準適合品の使用推奨を社内基準として設け、販売・施工者様へ改めて点検～買い替え提案を実施していくよう取り組み(キャンペーン)を行っております。詳しくはお問い合わせください。(※)長期使用時の経年劣化に関する注意喚起を表示する制度で、換気扇の他、扇風機、エアコン、洗濯機等にも表示が義務付けられています。

業務本部 3F 展示ホール



セキュリティシステム専用webサイト リンク掲載募集中！



●SEIHOオフィシャルニュースレター『ウインド・from・フューチャー』2020年 第46号 ●発行日 / 2020年3月20日発行
●発行 / セイホーブラック株式会社 機器営業本部 〒816-0971 福岡県大野城市牛頸2364-3 tel 092-595-0704 fax 092-595-0931



* 最新情報はこちらで SEIHO-WEB www.seiho-sdk.co.jp

このニュースレターは、環境にやさしい大豆油インキ (SOYINK) を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK

店舗や小規模事務所の防犯で注目

ライフディフェンスエアで低コスト、迅速対応実現

高機能な防犯を低コストで実現するライフディフェンスエアシリーズのスマートセット。

警備員駆け付け型のセキュリティからの切り替え店舗・小規模事務所が増えています。

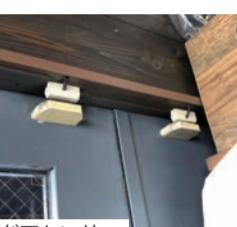
従前の防犯システムと何が違うのか、実際に導入されたショップに感想を聞いてみました。



こちらの店舗（アパレルショップ）は以前大手警備会社の駆け付け型警備システムを契約していました。

基本の契約期間は5年ですが、その間に問題なく警備員の出動は一度もなかったとのこと。

契約期間の費用は約90万円（毎月1.5万）、さらに5年延長すると総額180万円以上がかかりてしまうのが気になっていたそうですがそれも仕方ないと諦めていた矢先に、当社ライフディフェンスエアを知り、コスト面と機能面を確認、納得して導入を決定して頂きました。



■ オフィス向け動画



■ ショップ店長

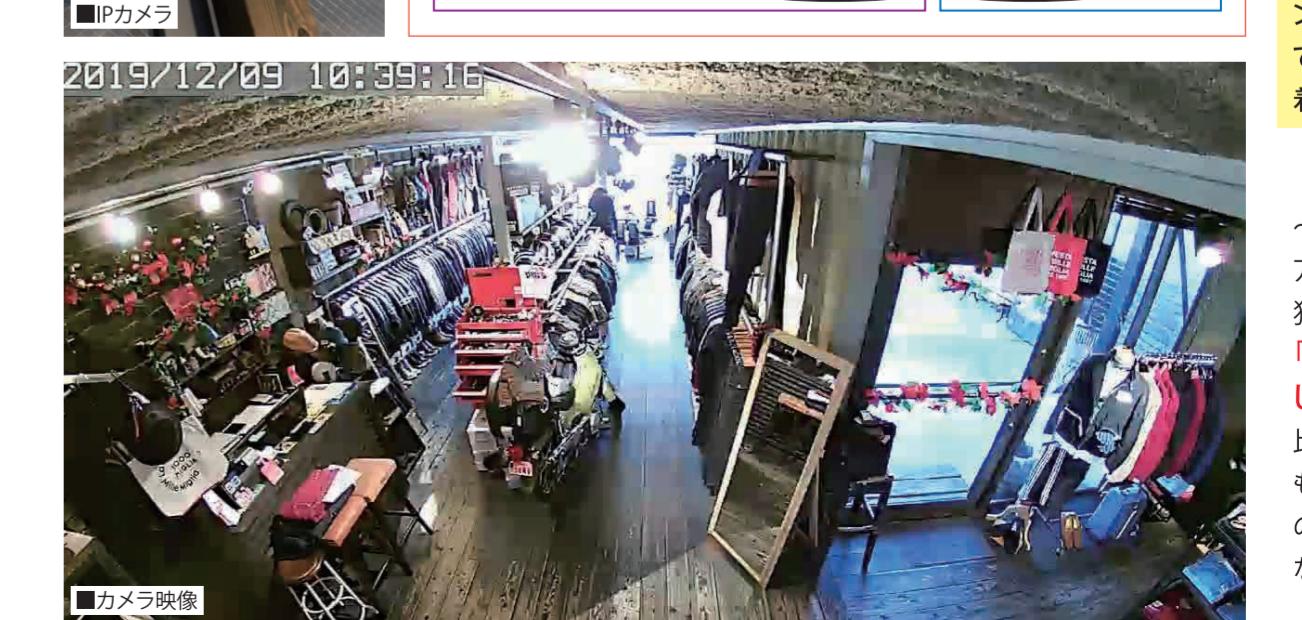
店長 導入費用はオプションのIP監視カメラを入れても総額で30万程度でした。今まで契約していたセキュリティと比較すると2年からずつ元が取れると思います。以前はカメラがついていませんでしたから、それを考慮するとかなりの経費削減が実現できましたね。

最初は何かあった時に自分でちゃんと対応できるのか心配でしたが、異常発生後すぐに自分のスマホに連絡が入って、店舗内の音声も確認できます。どちらも大声で警告でき、オプションのカメラで店内を自視できることを実際にデモンストレーションしてもらって、思った以上に簡単に対応しやすいと感じました。これなら十分落ちていて対応できると思いますよ。

異常確認後すぐに110番すれば、トータル2～3分で対応は終わりです。併せて機器からのアラーム、通報音声が店内に鳴り響きますので犯罪を未然に防ぐ効果は絶大です。

「警備員が25分以内に駆け付け異常を確認してから警察へ通報」する以前のシステムと比較しても大幅に対応時間が短縮できることにも安心を感じていただいたようです。今後、他の店舗への導入を検討していただけるようになりました。

取材ご協力有難うございました。



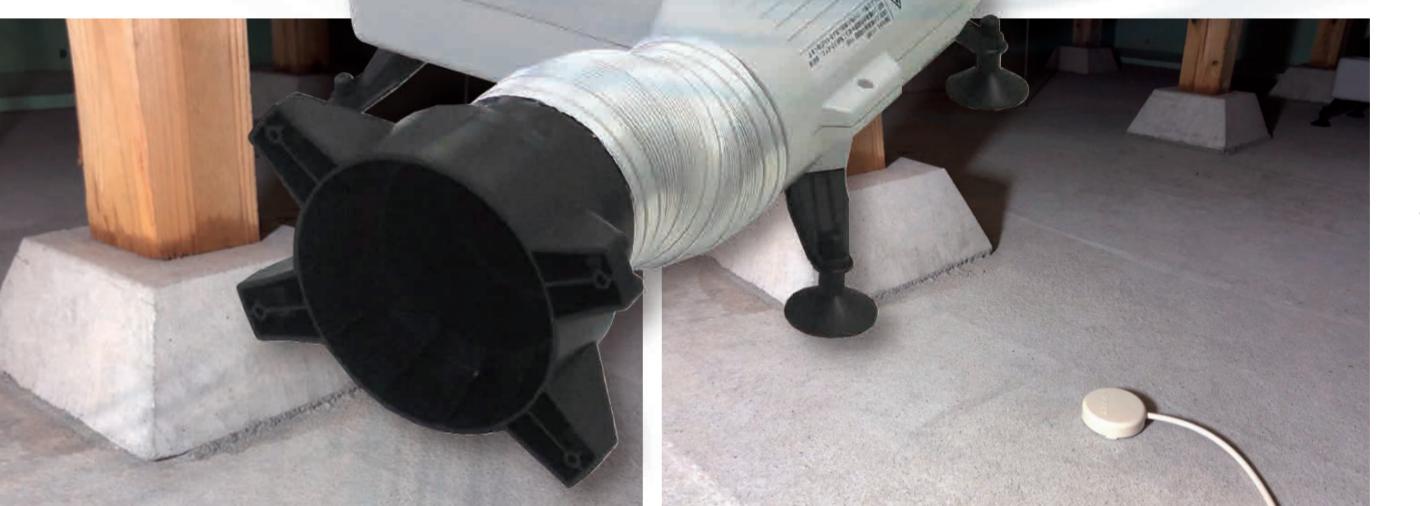
EIHO HEADLINE

まずは水周りの床下湿気対策から

ブロワー型換気 + 浸水センサー付き

タイマーで新築にもリリフォームにも

床下換気システムは床下の湿気（木部含水率）を低減させ土台木材の腐朽や強度劣化を防止することを目的としています。すでに1981年発売から40年近く経過しているロングセラー商品ですが、高温多湿の気候風土である日本の木造住宅には継続し



ユーチューバーの意識変化

もともと既築住宅の床下湿気が顕著にみられる物件への取り付けが主でしたが、ここ最近では予防的な意味（クレーム回避）も含めて新築住宅への採用が増加しています。あわせて一般の方もインターネットで手軽に情報を入手できる時代になり、エンドユーザーからの問い合わせ（効果性、価格等）が大きく増えてきており「住まいを長持ちさせたい」「今は大丈夫だが将来的に不安がある」など施主の方々の予防的意識も強くなっています。

同時に、デフレが長引き経済的に厳しい昨今、ユーチューバーの予算も圧迫され、本来は床下換気をつけたほうが良いし安心できる

を提案

S
T
E
O
H
M
A
D
F
Z
T

最佳解の一算一案を提案



床下換気ベーシックそんな住宅に対し
て「転ばぬ先の杖」として提案しやすいユ
ニットです。水周り床下への設置が基本と
なりますので、水周り部分の床下はいつも
空気の動きが活発になりカビや普及菌の
発生を抑えることに効果があります。
※面積が広かつたり複雑な基礎構造の床
下は換気扇設置箇所以外の床下部分に動
風効果が出にくくなります。1年、3年、
5年点検等で状態をチェックし、もし換気
が不足しているようなときには追加の換
気扇設置をご提案ください。

